

2011年3月11日に発生した、東北地方太平洋沖地震で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

巨大地震、大津波、そしてそれに伴う電力施設への被害発生により、首都圏及び東北地方の一部地域では、電力供給量が需要を大幅に下回ることが予測された結果、3月14日から「計画停電」が断続的に実施されました。この間、鉄道、工場、大型商業施設などの社会全体での節電、そして、一般家庭でも節電努力が行われました。

そして、4月9日には気温の上昇と共に、計画停電の事実上の終了宣言がなされましたが、夏に向けた気温上昇などを考えると、電力の需給バランスはまだまだ不透明です。

私たち一人ひとりが、私たちの暮らしている場所で自発的に行った「節電努力」。それは、どのような効果を生むのか？ そのひとつが、右ページのループ図で示した「被災地とのつながり」です。

復旧・復興・再生・創造に向けて

私たち一人ひとりの節電努力が、 幸福な社会をつくるための第一歩となる。

このループ図は、計画停電が終了しても、節電は必要なアクションであることを示しています。複雑に思える状況を、それを構成する個々の要素を整理して全体像を俯瞰して考える(システム思考)ことは、私たち一人ひとりが冷静に行動していくためにも必要な思考ではないでしょうか。

そしてこの「節電努力」は、電力消費量を自分たちの意思で減らすことができることを未来に向けて実証・伝えていくためにも大きな役に立つと思います。節電を一時的な電力消費の抑制のためのテクニックとして、または我慢の節電ではなく、節電や電力について考え、身の回りを新しい目で見つめ直すことから、自分や社会の幸せとのつながりを考えてみる。

復旧、復興、再生、そして、創造。10年後、あるいは30年後の幸福な社会を考えるためのひとつのきっかけとして「節電と幸せ」を、広くみなさんと考えていきたいと思えます。

「節電と幸せ」あなたのアイデアをお寄せください。

「我慢の節電」ではなく、「幸せにつながる節電」。節電してみればじめて気づいた幸せもあるのでは？ そして、例えば、夏なら「冷」ではなく「涼」。エアコンで冷やそうとするのではなく、風とおしを良くすることや、打ち水などで涼む。日本の気候風土や文化に根ざした知恵、技術など、みなさまのアイデアやご意見を募集します。

「節電と幸せ」アイデア&エッセイコンテスト

「節電と幸せ」コンテストは、幸せ経済社会研究所、ロハスクラブ、ソトコトの3社によって実施する共同プロジェクトです。あなたのご意見をお寄せください。アイデアやエッセイなど、応募形式は自由です。応募方法は、手紙、はがき、メールにて受付けています。

「幸せ経済社会研究所」は、短期的な効率やGDP至上主義ではない本当に幸せで持続可能な社会への移行、およびそれに資する経済や企業のあり方について、研究・対話・情報発信するために環境ジャーナリスト枝廣淳子が設立した研究所です。

応募先

郵送の場合

〒156-0055

東京都世田谷区船橋1-11-12 産興ビル3F
有限会社イズ内「幸せ経済社会研究所」

e-mailの場合

Inquiry@ishes.org

ソトコト

あなたも節電メッセンジャーになってください!

<http://www.sotokoto.net/setsuden/>

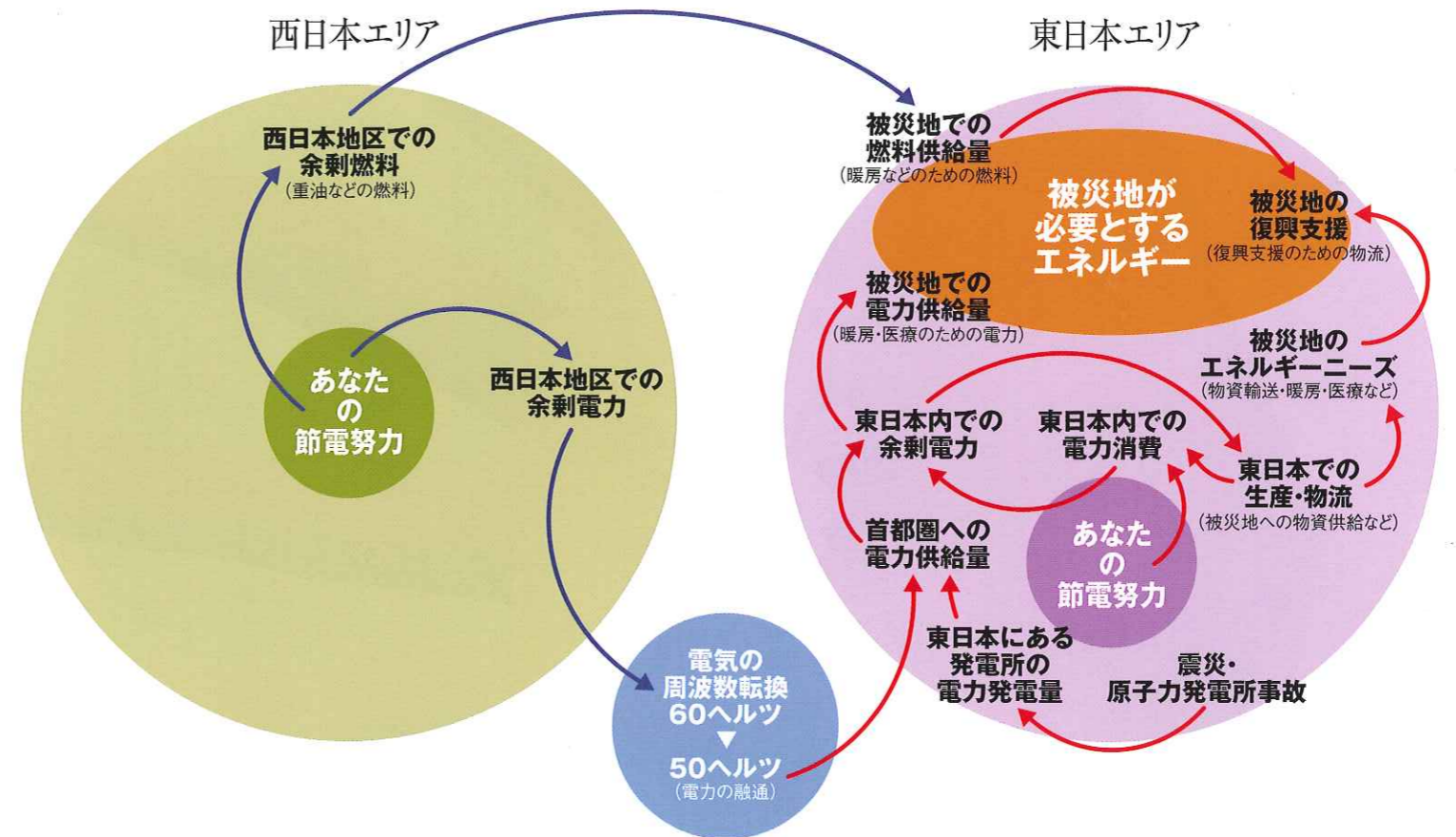
被災地へつながる、あなたの節電ループ図

私たちが、私たちの暮らしている場所で行う「節電努力」は、どのようなループで被災地へつながっているのでしょうか。複雑に思える状況を、それを構成する個々の要素を整理して全体像を俯瞰して考えてみましょう。そんなシステム思考で「節電」のつながり・ループを辿っていくことも大切なことです。

現在、直接的に節電が必要とされているのは、東日本エリア(東京電力、東北電力、及び、北海道電力の管内)です。私たち一人ひとりの節電努力は、被災地が必要とする電力の確保、あるいは、被災地が必要とする物資の流通や生産等のエネルギーの確保にも役立つものです(被災地のエネルギーニーズ)。

また、東日本と西日本では、周波数が異なることから東日本に周波数を変換して送電(電力の融通)できる容量には上限がありますが、西日本エリアでも節電・節約することは、とても大事なことです。電力以外にも燃料が足りないという状況もあり、節電は、火力発電が使用する燃料(重油)の節約につながり、被災地が必要とする燃料供給につなげていくこともできます。

そして「電力消費量を自分たちの意思で減らすことができる」ことを未来に向けて実証・伝えていくためには大きな役に立つと思います。



この「節電ループ図」は、平成23年4月20日時点での状況を整理したものです。ここに出ていない要素やつながりについて、今後も考え続けていきます。是非、みなさまのご意見もお寄せください。

システム思考とは

私たちはとても複雑な社会に生きています。「複雑」というのは、1つの状況や問題を取り上げても、そこにはたくさんの「要素」が関連しており、しかも、それらの要素同士もさまざまにつながっている、ということです。システム思考は、「要素」の「つながり」をたどっていくことで、全体像を見ようという思考法です。目の前の現象だけではなく、その現象を引き起こしている「構造」を見抜くために役に立ちます。

作画協力
幸せ経済社会研究所 (<http://www.ishes.org>)
(有)チェンジエージェント (<http://change-agent.jp/>)

ループ図の読み方の説明

システム思考にはさまざまなツールがありますが、なかでも「要素のつながり」を見える化するための「ループ図」というツールは、問題の構造や本質的な解決策を考える上でも、また状況や問題の見方を伝えたり話し合ったりするコミュニケーションの上でも、とても役に立ちます。その状況に関わっている「要素」をつながりを示す「矢印」でつないでいくのが基本です。矢印をたどりながら読んでいくと、その状況の構造がわかります。ここに挙げたループ図は現象の「ある部分」の構造を示すものです。ここに出ていない、どのような要素やつながりがほかにあるのでしょうか？